

適期刈取について

- 収穫適期は、昨年や平年よりもやや遅くなっています。
適期に収穫するよう準備をお願いします。

なお、ほ場により生育のばらつきがあるため、子実水分が30%以下となったほ場から、適期内に刈取りを終えるようにしましょう。

*水分30%の状態とは・・・

茎葉と子実のほとんどが黄化し、屈曲した穂の割合がほ場全体の50%程度となった頃です。(右図参照)



I 収穫前の作業ポイント

- (1) カラスノエンドウは収穫前に必ず抜き取る！！
実需者から混入防止の徹底が求められており、取引先の信頼確保のためにも行いましょう。
- (2) 畦畔雑草の除草とコンバインの清掃・点検は早めに行い、異物混入防止に努めましょう。また、コンバインの扱廻回転数は、水稻の場合より10~20%程度高め(麦仕様)にしましょう。
- (3) 大麦跡大豆・ハトムギ等の作付け予定がある場合は、①大麦収穫、②土壌改良資材散布、③耕起・播種作業が同時並行で実施できるよう準備を行いましょう。



カラスノエンドウとその種子

II 収穫時の作業ポイント

- 収穫後は、直ちに乾燥施設に搬入しましょう。
(収穫後4時間以上放置すると、熱損粒等の発生により品質が低下します。)

*** 大麦跡は、大豆、ハトムギ、緑肥等の作付けを行い、ほ場の有効活用に努め、カメムシ類の生息地をなくしましょう！**